

八重の桜・裏の梅



本井康博

要約

二〇一三年のNHKの大河ドラマの主人公には、会津出身の無名の女性が抜擢された。震災からの復興に苦闘する福島や東北へのエールである。困難な時代に気骨ある生き方を貫いた、新島八重と裏の生涯を紹介する。

予想外だった、「八重の桜」決定

私は、今年の三月で同志社大学神学部を定年退職しました。四月から悠々自適の身となるはずが、NHK大河ドラマ「八重の桜」の影響で、新島裏や八重について取材を受けたり、講演を依頼されたり、ドラマの時代考証を依頼されたり、忙しい日々を送ることにな

っています。

新島八重の名は今でこそ全国で知られていますが、NHKが大河ドラマの制作発表をした二〇一一年六月までは、ほとんど知られていませんでした。出身地の会津でさえ、山本八重子ならわかるが、新島八重は知らないと言う状況でした。NHKの発表以来、私は会

津だけで五回講演をしています。両者は同一人物です」という話から始めなければいけない有様でした。同志社大学でも、一部の学生は、創立者の新島裏の名さえ知らないのですから、妻の八重の名はなおさら知られていません。まして京都や会津以外では、八重はほぼ無名の存在でした。

何故、NHKは無名の八重を大河ドラマの主人公に据えたのでしょうか。実は、「誰を大河ドラマの主人公にするか」について、全国四〇以上の自治体がNHKに激しい陳情合戦を繰り広げていました。地元の英雄が大河ドラマの主人公に取り上げられれば、数百億円

の経済効果上がるからです。例えば、三重県は「藤堂高虎」という津藩の初代藩主を何年も前から熱心に売り込んでいました。NHKの現会長が三重県立伊勢高校出身であることから、三重県人を主人公に採用してもらいたいと県民が期待するの、自然です。

京都府長岡京市は「明智光秀と細川ガラシャ」を売り込んでいました。福島県は「保科正之」という初代会津藩主を売り込んでいました。会津市内だけで四五万人もの署名を集めた大本命でした。しかし蓋を開けてみると、どこも誰か知らない八重に決まったのです。会津の人々は一応大喜びしながらも、落胆と驚き

を微妙に滲ませました。大本命の殿様が落とされ、頼んでもいない、よく知らない女性が抜擢されたからです。実際、NHKの発表直後、「無名の女性が主人公なんて、二〇一三年の大河ドラマは失敗だ」という意見がネット上で随分見られました。

何故、NHKは無名の女性をヒロインにしたのか

「八重の桜」と正式発表される三ヶ月前の二〇一一年三月の時点では、候補者を絞りこみ、最終的な人選に入っていたと思われる。しかし、三月一日、東日本大震災と福島原発事故が起きました。これを機に、NHKは方針転換をしたのだと思います。「単なる娯楽番組を制作している場合ではない」「一番痛めつけられた福島、ひいては東北全体に勇氣と元氣を送るための番組にしなければならぬ」と考えたのでしよう。しかし、復興のエールを運ぶメッセンジャーとして福島県人を抜擢したいならば、会津の人々が一番に売り込んでいた保科正之を選べばよかったです。しかし、大本命が落ちました。

私見ですが、NHKは、「なでしこジャパン」の活躍が三・一一後の日本にどれほど勇氣と励ましを与えたかを鑑み、女性パワーに着目し、主人公を女性にしようとしたのではないのでしょうか。その証拠に、保

科正之だけでなく、八重の同時代人で全国区の知名度を誇る福島県人、野口英世も落ちていきます。

八重のライバル〜会津出身の女性たち

しかし、大河ドラマの主人公に相応しい会津出身の女性は、八重だけではありません。時代を明治に限定しても、少なくとも五人の名前が挙がります。

(1) 中野竹子（一八四七〜一八六八）

「幕末のジャンヌ・ダルク」と呼ばれている女性です。薙刀の名手で、娘子隊の一員として男装して会津戦争に従軍しましたが、新政府軍の銃撃を受け、戦死しました。

(2) 山川捨松（一八六〇〜一九一九）

大河ドラマに取り上げられる上で、八重の一番のライバルとなったであろう女性です。まず、家柄の格が違います。捨松は会津藩の国家老（二千石）の娘でした。八重の実家の山本家は会津藩の砲術師範の家で、せいぜい一〇〇石から一五〇石ですから、約一〇分の一でしかありません。

捨松の兄二人がまた凄い人です。上の兄は、山川大蔵（後に、山川浩）といい、陸軍少将、貴族院勅選議員を務め、最後は男爵に叙せられました。二番目の兄は、山川健次郎といい、イェール大学に国費留学し、

帰国後は東京帝国大学教授（物理学）を務め、東京帝大総長を二回、京都帝大総長を一回、九州帝大総長を一回務めました。旧帝大総長を四回も務めた人物は他にないでしょう。八重の夫である新島襄が同志社大学を創立しようとして失敗し、生涯、学長を一回も経験せず、塾の校長レベルで終わったこととは大違いです。ちなみに、健次郎は兄と同じく貴族院勅選議員も務め、男爵にも叙せられました。

捨松本人も凄い人です。日本最初の女子留学生としてアメリカに留学しています。岩倉使節団に随行した留学生四三人中、五人が女性でしたが、津田梅子に次いで有名なのが、この山川捨松です。彼女の元の名は、「咲子」です。しかし、一〇年という長い歳月を異国で過ごす娘に対し、母親は、「今日限り、私はあなたを捨てます。でも、帰国を待ちます」と告げ、「捨松」という名前に替えさせたのでした。

満一歳で留学した彼女は、成長してアメリカのヴァッサーカレッジという名門女子大学を卒業しました。日本人初の女性学士です。学士会館の資料コーナーでは、一九二〇年代に東北帝国大学を卒業した三人の女性を、「日本初の女性学士」と紹介していますが、アメリカの大学を含めると山川捨松が第一号です。

帰国後、捨松は大山巖と結婚しますが、夫という点

でも捨松は八重を凌駕しました。大山巖は薩摩藩出身で陸軍創成期から日露戦争まで活躍した軍人です。陸軍大臣、参謀総長、内大臣なども歴任し、元老としても重きをなし、最後は国葬で葬られました。

容姿でも捨松は八重を凌駕します。大変な美形の上に、やや太めの八重と違って長身瘦軀で洋装が非常によく似合いました。英語もフランス語も堪能、ダンスも得意で、「鹿鳴館の花」と呼ばれていました。捨松は、家柄、能力、歩んだ人生、配偶者、容姿と、どれをとっても大河の主役に最も相応しい、華やかな女性でした。

(3) 海老名リン（一八四九〜一九〇九）

幼児教育・女子教育の先駆者として知られる人物です。戊辰戦争後、夫とともに東京に移住したリンは、キリスト教を通じた社会活動に触れ、洗礼を受けました。東京婦人矯風会に加わり、副会頭として婦人の地位向上に尽力する一方、福島県の保母第一号として若松幼稚園を設立し、続いて会津女学校（現・県立葵高校）を設立しました。

(4) 若松賤子（一八六四〜一八九六）

日本で初めて少年少女のためのキリスト教文学を紹介した作家で、『小公子』の名訳で知られています。戊辰戦争後、幼くして横浜の商人に引き取られ、養女

として育ち、フェリス女学院を卒業しました。母校で教師をしていた時、講演に来た巖本善治（明治女学校校長）と知り合い結婚しましたが、結核で早世しました。

(5) 瓜生岩子（一八二九〜一八九七）

今日の社会福祉の礎を築き、「日本のナイチンゲール」と言われる人物です。戊辰戦争の際、敵味方の区別なく負傷者の救護にあたり、戦後は孤児となった幼童のために私財を投じて学校を創立しました。その後も貧民や孤児の救済に生涯を捧げ、晩年には女性で初めて藍綬褒章を受章しました。

海老名リン、若松賤子、瓜生岩子の三人は、東京では無名ですが会津では大変有名で、それぞれ記念館、銅像、記念碑が建てられています。特に最後の瓜生岩子は、東京に一、会津に三、福島に三の銅像が建てられています。これに対して八重には銅像も記念館もありません。生誕の地に小さな記念碑が一本建っているだけです。大河ドラマの主人公の座を争った場合、生来の華やかさでも地元での人気でも、八重が他の五人に勝てる要素は到底ありませんでした。

何故、八重が抜擢されたのか

では何故、NHKは八重を選んだのでしょうか。私の勝手な推測ですが、一つは、「不撓不屈」「信念」「先駆性」という言葉がびつかりの八重の性格が好まれたからでしょう。容貌もがっちり骨太でした。当時の同志社の学生からは「相撲取り」と呼ばれたくらい、力持ちで男勝りでした。八重は、NHKが期待する「復興のエルを運ぶメッセンジャー」「勇氣と元氣の持ち主」という役回りに最も相応しかったのでしよう。

もう一つは、数年前、NHKが歴史番組「歴史秘話ヒストリア」で新島八重を取り上げた際、ほぼ無名だったにもかかわらず、大変な好評を博したからです。私も番組のお手伝いをしたので自画自賛になりますが、この回は再放送の要望が殺到し、衛星放送も含めると一〇回近く再放送されました。ディレクターから、「リピーターを含めたら、少なくとも二千万人の人が見てくれたはずです」と言われたくらいです。ちなみにこの番組は、今年一月、大河ドラマ「八重の桜」の第一回が放送された同じ週に、番組内容を一部リメイクした形で再放送されました。元々の番組では京都時代の「新島八重」に焦点を合わせていましたが、会津時代の「山本八重子」にも焦点を合わせ、大

河ドラマの宣伝番組として再放送したのです。

新島八重の生涯（一八四五—一九三三）

頑強だった新島八重は、八六歳の長寿を全うしました。病弱だった夫の新島襄が四六歳で死去した後、彼の倍近く生きることになります。その生涯は三分割するとよく分かります。

（1）会津時代（一八四五—一八七二）

「八重の桜」は、あくまで東北の復興にエルを送ることが目的のドラマなので、NHKでは会津時代を一番の中心に据え、全五〇回のうち三〇回前後を充てる予定です。実際、NHKのポスターに登場する八重役の綾瀬はるかさんは「腰に刀、腕に鉄砲」という扮装で、明らかに戊辰戦争時代の山本八重子です。

会津時代の八重は、大河ドラマでは「会津のジャンヌ・ダルク」として描かれる予定です。八六年の生涯の最初の二六年に相当し、少女時代、初恋、戊辰戦争、白虎隊、最初の夫である川崎尚之助との結婚と離別、米沢避難などのエピソードが盛り込まれる予定です。

（2）京都時代①（一八七二—一八九〇）

鳥羽伏見の戦いで戦死したと思っていた兄（山本覚馬）が実は生きていたと知り、避難先の米沢から兄を

頼って上洛するところから、八重の京都時代は始まります。八重は以後、八六歳で亡くなるまで六二年間を京都で過ごしますが、長いので、新島襄と出会い再婚したもの、死別するところで京都時代を前半後半に分けました。

（京都時代の前半、八重はクリスチャンになり、牧師夫人になり、校長夫人になり、一四年間を新島襄と二人三脚で歩きました。欧米流のレディファーストの身に付いた裏と男勝りの八重は似合いの夫婦でしたが、男尊女卑の根強い世間からは「悪妻」と評されました。また、薩長出身の学生を冷遇し、西洋の感覚を身に付けながらも武士の誇りと道徳にこだわったため、周囲との軋轢を生み、学生の一部からは「鶴のような女性」と非難されました。NHKはこの時代の八重を「ハンサムウーマン」として描く予定です。四年前に「歴史秘話ヒストリア」のディレクターが付けた言葉ですが、おそらく今年の新語・流行語大賞の候補になるでしょう。大賞は「ならぬことはならぬ」でしょう。

（3）京都時代②（一八九〇—一九三三）

新島襄と死別してからの余生を、八重はシングルライフを楽しむ元氣なお婆ちゃんとして過ごしました。余生といっても四二年間に及びますが、日清・日露戦

新島襄の生涯（一八四三—一八九〇）

（1）江戸で侍時代（一八四三—一八六四）

神田一ツ橋³⁾にあった上州安中藩邸上屋敷で、下級武士の祐筆の息子として生まれました。二一歳まで江戸藩邸で暮らしましたが、二度目に仕えた藩主とそりが合わず、当時は禁止されていた海外渡航を思い立ち、アメリカへ向けて函館より密出国しました。

（2）留学生時代（一八六四—一八七四）

ボストンに着いた新島は、以後一〇年を海外で過ごします。ボストン入港後にアメリカの篤志家夫妻と知り合った新島は、夫妻の援助で、幸運にも超一流校で教育を受ける機会に恵まれます。まず、フィリップス・アカデミー高校⁵⁾に入学し、在学中に洗礼を受けました。

次に進学したアモスト大学⁶⁾は、リベラルアーツカレッジです。四年間、自然科学、社会科学、人文科学といった一般教養と、その基礎となる語学だけを学びます。医学や法学などの専門は大学院に進学してから

学ぶことになっていたので、卒業生に授与されるのは、文学士という学位のみです。

一八七〇年、新島が卒業時に授与されたのは理学士でした。理学を特別に修めたからではありません。ギリシャ語とラテン語が不得手だった新島は、履修を免除され、四年制の大学を三年間で終えました。そのため、全卒業生のうち新島だけが文学士の学位を取得できず、例外的に理学士の学位が与えられたのです。ただし、新島は元来、理系が好きだったようです。幕府の軍艦操練所に通っていた頃のノートがたくさん残っています。測量術、算術、地質学などが得意だったことが窺われます。

新島はその後、アンドルーヴァー神学校という大学院に進学し、一八七四年に卒業しました。白人でも大学に入学できるのはごく一握りという時代に、新島は神学校（大学院）まで卒業させてもらい、牧師の免許を取得して帰国しました。

(3) 京都で校長・牧師時代（一八七五—一八九〇）
神学校を卒業した新島は、宣教師団体アメリカン・ボードの試験を受けて宣教師の資格を取得し、「日本にキリスト教主義の大学を設立する」という使命を得て、一八七四年、帰国しました。

当時、日米通商修好条約などの制約で、宣教師たち

が新島の学校設立に協力を約束したことで、新島のミッションは半ば成就したも同然になりました。

覚馬は、維新後に自ら購入していた旧薩摩藩邸跡地を学校用地として新島に譲渡し、新島と連名で「私塾開業願」を文部省に提出し、知事の認可も取りつけました。クリスチャンがほぼ存在しなかった時代に、保守的な京都の御所と相国寺に隣接した一等地に、キリスト教の学校を設立することは、山本覚馬というコネがあつてこそ可能だったでしょう。

一八七五年、同志社英学校が設立されました。以後、新島は亡くなるまでの一四年間、初代校長を務めながら、「日本にもアーモスト大学のような私立大学を設立しよう」「同志社英学校を同志社大学にしよう」と尽力しました。大学が東京にある帝国大学一校だけ

が居住し、学校を設立してもよい場所は、開港地と居留地に限られていました。新島の脳裏にも大学設立候補地として、まず横浜か築地が浮かんだと思います。が、アメリカン・ボードの日本での拠点は神戸と大阪でした。そこで新島は、大阪での大学設立を目指しました。しかし、府知事がキリスト教系の大学設立に難色を示したため、計画は土壇場で頓挫してしまいました。神戸に大学を設立しようという話も出ました。一八七五年、アメリカン・ボードの女性宣教師たちが学校を設立していたからです（後の神戸女学院）。しかし、実際に大学が設立されたのは、京都でした。

京都と同志社という取り合わせは、本来なら絶対にありえないミスマッチでした。何故なら、京都は外国人の居住・旅行・財産所有などに大きな制約が課せられている内陸地だからです。

このミスマッチが可能になった背景には、八重の兄、山本覚馬との出会いがありました。大阪での大学設立構想の頓挫にショックを受けた新島は、もともと虚弱であったこともあり、宣教師仲間から保養を勧められ、京都に出かけました。そこで覚馬を紹介されたのです。当時の覚馬は京都府の顧問を務めていました。いわば知事のブレーンで、知事からは「山本先生」と敬われ、府政を指導する立場でした。その覚馬

だった時代に、私立大学創立を夢見た最初の男が新島裏でした。しかし、新島は大学設立のための募金活動のさ中に前橋で倒れ、一八九〇年一月二三日、静養先の大磯で四六歳で帰らぬ人となりました。

京都で新島裏の葬儀が行われた一八九〇年一月二七日は、東京三田で慶應義塾に大学部が発足した日です。福澤諭吉は、大学設立に奔走する新島に刺激を受け、先に夢を実現したのでした。新島としては死んで

も死にきれなかったのではないかと思えます。同志社英学校が同志社大学を名乗るようになったのは、新島の死から二二年後の一九二二年のことでした。教え子の徳富蘇峰らの尽力によるものでしたが、専門学校令による「大学という名称の認可」でしたから、実質的には専門学校でした。大学令により名実と

自費出版ご案内

あなたの本を 文藝春秋で つくりませんか？

作家菊池寛は、「人に頼まれてものを云うことに飽きた。自由な心持で云ってみたい」とポケットマネー二百円を出して文藝春秋を創刊したといえます。つまり自費出版は文藝春秋の原点ともいえるでしょう。「自分だけの本を作りたい」
そのお手伝いを私たちがいたします。

※まずは資料をお送りいたします

見積無料

文藝春秋 企画出版部

〒102-8008
東京都千代田区紀尾井町3-23
TEL.03-3265-1211(代表)
FAX.03-3265-1257
http://www.bunshun.co.jp

もに正式に大学に昇格したのは、死後三〇年たった一九二〇年のことで、八重は存命でした。

八重の桜、裏の梅

大河ドラマのタイトルは「八重の桜」ですが、八重桜をイメージしてつけたものではありません。「被災地の皆さん、春はきつと来ます。桜は必ず咲きます」というエールの意味で、復興のシンボルとしてタイトルに「桜」を入れることがまず決まり、そこにヒロインの名前を重ねたら、たまたま八重桜になったわけです。

これは同志社大学からすると、新しい事態の発生です。新島裏は寒梅を好んだので、大学にとって特別な意味のある花は、桜ではなく梅だからです。

新島裏の寒梅に関する漢詩を二編、紹介しましょう。②の漢詩は、詩吟の世界では初心者が最初に吟じるものなので、大変有名です。

① 寒梅の詩^{うた}

真理似寒梅 敢侵風雪開

（真理は寒梅のごとし 敢えて風雪を侵して開く）

② 庭上の一寒梅

庭上一寒梅 笑侵風雪開
不爭又不力 自占百花魁

（庭上の一寒梅 笑ふて風雪を侵して開く
争はずまた力めず 自ずから占む百花の魁）

新島は悪い条件を克服して開く梅の姿に大変共感し、自分の生き方のお手本のように捉えていました。ですから、「同志社の花は梅」であり、学内のチャペル前には白梅と紅梅が植えられ、①の漢詩を刻んだ石碑も建てられています。二〇〇四年に学生会館をリニューアルした校舎（大学院）は「寒梅館」という名ですし、学内唯一の木造建築である茶室も、裏千家一四代家元によって、「寒梅軒」と命名されています。

しかし、「八重の桜」のせいで、「同志社の花は梅」というイメージがつかかれません。とはいえ、八重のポスターを見ると「この時代、咲いてみようじゃないの」と書かれているので、「NHKは、桜ではなく、梅をイメージして八重を描こうとしている」とも感じます。暖かくなってから咲く桜と違い、寒くても咲く梅には、努力と意志が感じられます。「敢えて風雪を侵して」「笑ふて」咲く梅は、復興を目指す東北への応援のシンボルとして、相応しいと思います。

似た者夫婦だった裏と八重

若者言葉を借りて表現するなら、新島裏は「草食」、八重は「肉食」です。性格は正反対と言えます。にもかかわらず、この二人は似た者夫婦だと思えます。

一つ目の共通点は、二人とも気骨ある生き方を貫いた点です。八重役を演じる綾瀬はるかさんは八重について、「信念のある女性」「頑固な人」と答えています。新島裏もまた、大変気骨ある人物でした。彼は遺言の中で、「個儼不羈^{こごうふき}な学生を圧束せず」（気骨ある学生を追い出さず、将来のリーダーとして育てろ）と言っています。「個儼不羈」とは、一旦こうと決めたら、周囲の反対にも屈せず、信念を貫くことです。晩年の新島は穏やかなクリスチャンの紳士となり、頑固一徹な面を見せなくなりましたが、相当気骨がなければ

は密出国のような大胆なことではできなかったでしょう。

二つ目の共通点は、あえてマイナー（少数派、非主流派）を選び取った精神です。夫妻はクリスチャンでしたが、クリスチャンは現在でさえ人口の1%以下、明治初期にはより一層少数派でした。八重の出身地、会津の人々は戊辰戦争後、「逆賊」「朝敵」呼ばわりされました。二人は少数派でしたが、そのことに誇りと勇気を持ち、互いに共鳴し、支え合い、普通の人がやらないことを率先してやるパイオニアでした。前述の漢詩の最後に「百花の魁」とありましたが、まだ寒いうちから他の花に先駆けて咲く「寒梅」精神の持ち主でした。

三つ目の共通点は、「ハンサムに生きた」ことです。

刀

日本刀専門店

銀座 泰文堂

刀剣買取り
鑑定・見積
無料

東京都中央区銀座4-3-11
銀座並木通り
松崎煎餅ビル4階
定休日〔日曜・祝日〕

☎03-3563-2551

銀座泰文堂

検索

現在、「ハンサムウーマン」という言葉が独り歩きし、「八重は男前の女性だった」と解釈されていますが、完全に誤訳です。この言葉の出所は、八重と婚約中だった新島襄がアメリカ時代の恩人に宛てた手紙です。その中で、襄は八重について、「彼女は決して美人ではありません。しかし、ハンサムな行いをする人です。私にはそれで十分です」と語っています。つまり、「外見よりも中身」と言っているのです。

学士会館と新島襄と野球の不思議な縁

新島が留学したアーモスト大学は、アメリカにおける大学野球発祥校の一つで、アメリカ初の大学対抗戦は、アーモスト大学と隣のウィリアムズ大学の対抗戦でした。新島が留学したのは野球部が創設されて間もない頃でしたので、新島がもし野球をしていれば、「日本人で初めて野球をした男」として、野球殿堂入りしていたかもしれません。しかし、彼は運動が苦手だったので、もっぱら観戦と応援だけだったようです。

さて、同志社英学校の卒業生に、安部磯雄（一八六五—一九四九）という人物がいます。キリスト教的人道主義の立場から日本の草創期の社会主義運動を大きく牽引した人で、衆議院議員としても活躍し、「日本

社会党の生みの親」と呼ばれました。彼は若き日、新島から受洗するなど、新島に心酔して成長し、卒業後の一時期は牧師として活躍していました。そんな彼には、もう一つ、「学生野球の父」という顔があります。

一九〇一年、安部は東京専門学校（翌〇二年、早稲田大学に改称）の講師だった時、同校に野球部を創設し、初代部長に就任しました。〇三年には早慶戦を始め、〇五年には同部を率いて日本野球史初の海外遠征を行い、本場アメリカのプレーを日本に広く伝えました。その功績から没後の一九五九年、野球殿堂創設と同時に殿堂入りしました。早大構内には今も彼の銅像が建っています。早大野球部の旧グラウンドは「安部球場」、合宿所は「安部寮」と命名されていました。

新島襄が留学したアーモスト大学が大学野球発祥の地であること、新島の秘蔵っ子が「学生野球の父」と称されること、私が本日講演させて頂いている学士会館が、「新島襄生誕の地」であり、「日本野球発祥の地」であること。これらにとっても不思議な縁を感じると思し上げて、私の講演を終えたいと思います。

- (注)
- 1) 「歴史秘話ヒストリア 明治悪妻伝説 初代ハンサムウーマン 新島八重の生涯」(二〇〇九年四月二二日)。
 - 2) 八重は京都で洗礼を受けた最初の人となったが、彼女独自

の判断というより、兄、寛馬の影響であろう。戊辰戦争を経験した会津出身者にはクリスチャンが多く、八重の他に、山川捨松、海老名リッ、若松賤子、井深楓之助(明治学院院長)などがいる。

- 3) 現在、同藩邸跡地には学士会館が建つ。会館敷地内には「新島襄先生生誕之地」の記念碑が建立し、生誕日には同志社関係者によって碑前祭が開催されている。
- 4) 新島襄がボストン入港後に出会ったアルフュース・ハーデーは、アーモスト大学とアンドーヴァー神学校の理事であったため、襄が両校へ入学する際に強力にサポートした。また、ハーデーは宣教師団体アメリカン・ボードの責任者でもあったため、後に襄が宣教師として日本に派遣され、同志社英学校を設立するに際しても、様々な援助を行った。後にブッシュ大統領父子やJ・F・ケネディ・ジュニアが

卒業した超一流の進学校。

- 6) 二〇〇八年、リベラルアーツカレッジ部門でトップに輝いた全米最高峰の超名門大学。
 - 7) 大学を正規に卒業した最初の日本人は新島襄、女性では山川捨松である。まだ東大が学士号を授与する前のことであった。
 - 8) 一八八五年、新島の紹介でアーモスト大学に入学した内村鑑三が二年かけて取得したのも理学士の学位である。
 - 9) ... she is not handsome at all. But what I know of her is that she is a person who does handsome. It is just enough for me.
- (同志社大学神学部元教授・同志社大・神博・立命館大・経・昭42)
- (本稿は平成25年4月10日夕食会における講演の要旨であります)

力丸堂ツアーの特長： 学士会会員様・ご家族様・ご知友様のみツアー／各分野のご専門講師が全行程ご同行

◆中山道の歴史を訪ねる◆ 長久保宿～茂田井間の宿

9月7日(土) ご参加費：9,500円

笠取峠の気持のよい松並木を越え、芦田宿を通過し、茂田井間の宿へ、茂田井間の宿は、元禄から続く老舗の酒蔵、土蔵造りの町並が残り、江戸の情緒をいまに伝えています。約10キロの行程です。

講師：八木牧夫氏(五街道ウォーク代表)

◆新家を訪ねる江戸・東京◆ 番町界隈

9月21日(土) ご参加費：3,000円

千鳥が淵と外濠に囲まれた一帯は、江戸時代の区割りが残っています。番町大絵図をもちに「江戸」道徳とまいりましょう。

講師：柳家さん福郎

詳細：090(7637)0377 Fax03(6806)5366 rikimaru@wb3.so-net.ne.jp 企画家力丸堂 西川